

IoT・AI を活用したモデル住戸の一般公開や住まいの最先端技術展示など 未来の住まいをリアルに感じるイベント続々開催！

住まいの技術に関する10月の4イベントをご紹介します

独立行政法人都市再生機構（理事長：中島正弘、本社：神奈川県横浜市中区、以下、UR）は、『Open Smart UR』スタートアップモデル一般公開 in 赤羽台スターハウス「住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in 東京」「URひと・まち・暮らしシンポジウム」「ぼうさい国体2019@NAGOYA」など未来の住まいをリアルに感じるためのイベントを10月に順次開催、出展致します。



(2018 スーパーハウジングフェア in 栃木)



(2018 ひと・まち・暮らしシンポジウム)



(2018 ぼうさい国体)

UR はストックの多様な活用による持続可能なまちづくりの推進や、2030 年の住まいを考え、団地での IoT、AI 活用について研究する『Open Smart UR』など未来の住まいについての取り組みに力をいれております。

この度の10月に行う未来の住まいに関する4つのイベントで、IoT・AIを活用した『Open Smart UR』スタートアップモデル住戸の一般公開や住まいの最先端技術についての展示、講演を行います。これらの体験を通じ、**未来の住まいをリアルに感じて**いただくことで、新たな暮らし方や、社会課題を踏まえたこれからの時代のまちづくりについて触れていただき、未来の住まいの考え方を普及させていきます。

1 『Open Smart UR』スタートアップモデル一般公開 in 赤羽台スターハウス

https://www.ur-net.go.jp/rd_portal/ur2030/index.html

本当に住みやすい街として話題の赤羽で IoT・AI を活用したモデル住戸公開！

～約60年間の住居の変化を体験比較～

10月12日～15日 赤羽台スターハウス44号棟1階にて

今年7月、団地として初めて登録有形文化財（建造物）に登録するよう答申された旧赤羽台団地。その団地で、IoT・AIを活用した『Open Smart UR』スタートアップモデル住戸、および対比用として設置した建設当初（昭和37年）の再現モデル住戸を一般公開致します。



『OpenSmartUR』スタートアップモデル住戸



再現モデル住戸

URと東洋大学情報連携学部（以下「INIAD」）は、『HaaS（Housing as a Service）』という新たな発想のもと、IoTやAIを使用した魅力的で安心な生活環境である『Open Smart UR』の実現に向けて2030年の住まい方を想定したコンセプトブックを作成し、この新たなコンセプトの一部を具現化した『Open Smart UR』スタートアップモデル住戸を整備しました。

下記の通り、『Open Smart UR』スタートアップモデル住戸を建設当初（昭和37年）の再現モデル住戸と比較体験できる場所を一般公開致します。

<一般公開概要【事前予約制】>

- ◇ 公開期間 : 令和元年10月12日（土）～15日（火）10:00～17:30
- ◇ 見学時間 : 10:00～、11:30～、13:30～、15:00～、16:30～（見学時間1時間）
- ◇ 見学場所 : 赤羽台スターハウス44号棟1階（東京都北区赤羽台1丁目4-44）
- ◇ 予約方法 : 受付専用のメールアドレスにて申込み

※先着順で定員になり次第終了。詳細は下記アドレスのホームページを参照。

https://www.ur-net.go.jp/rd_portal/ur2030/index.html

<モデル住戸の概要 赤羽台スターハウス44号棟1階>

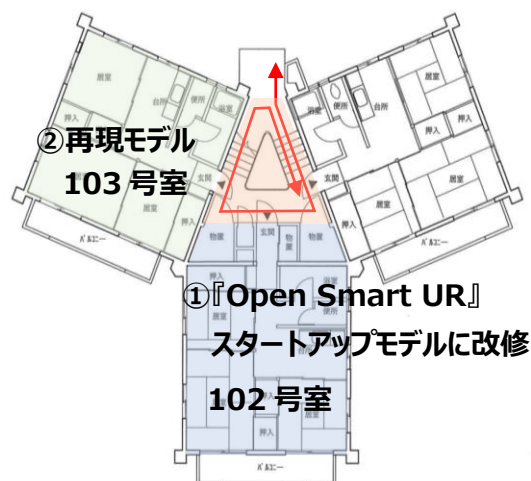
①『Open Smart UR』スタートアップモデル住戸（102号室）

<コンセプト>

- ・自宅で働けるコンパクト・テレワーク・スマート住宅
- ・様々な設備が連携して環境を最適化できるIoT住宅
- ・「サービス」を提供するHaaSを画面イメージで提示
- ・多様な住人プロフィールに対応できるプログラマブル住宅

②再現モデル住戸（103号室）

- … 建設当初（昭和37年）の住戸を再現



2 住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in 東京

<http://www.chuo-event.jp/>

団地の価値向上プロジェクトや長寿命化の技術的検証など進化する住まいの最新技術を一挙大公開！

未来の住生活についても展示

10月12日、13日 がすてなーに ガスの科学館にて

国民一人ひとりの住生活の向上とゆとりある豊かな住生活の実現に向けて、平成元年よりスタートした「10月は住生活月間」も令和元年を迎えた今年で31回目を迎えます。

本年度のイベントは、「ずっと愛される住まいのレシピ ～家に価値あり！家族と未来のための“住まいの性能”～」をテーマに、省エネ性能を始めとした最先端技術や、家族が長く豊かに暮らせる丈夫で長持ちする住まいの性能について多角的に紹介されます。

また、来場者全員に、一昨年から作成してきた小冊子「住まいの性能図鑑」の最終盤として作成する「住まいの性能図鑑 -丈夫で長持ちする住まいの性能-」がプレゼントされます。



book 型パネル（2017 年の様子）



省エネ行動トランプ

テーマ展示では、一昨年と同様の等身大の book 型パネルを展示し、子どもたちがパネルの中の楽しいイラストや写真などを立体的に展開して、近くまで触れたいくなるような展示になっています。

10月12日（土）には、「住まいの住教育」として「省エネ行動トランプワークショップ」が開催されます。小学生以上を対象に、省エネ行動トランプを開発した研究者の方を講師にお迎えして、省エネ行動トランプで遊びながら、家族みんなで省エネについて行動を起こすきっかけとなるようなワークショップです。

UR は期間中ブースを出展し、IoT や AI を活用した未来の住まいや、団地の価値向上を目指したプロジェクト、賃貸住宅の長寿命化に係る技術的検証等のご紹介とともに、クイズや団地をテーマとしたペーパークラフトなど皆さまに楽しんでいただけるように準備を進めていますので、UR ブースへ是非お立ち寄りください。

- ◇ 日時 : 令和元年 10 月 12 日（土）10 : 00～17 : 00、13 日（日）9 : 30～17 : 00
- ◇ 会場 : がすてなーに ガスの科学館（東京都江東区豊洲 6-1-1）
- ◇ 主催 : 住生活月間中央イベント実行委員会

3 UR ひと・まち・暮らしシンポジウム

<https://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/>

新しい都市再生の試みから IoT・AI を利用した未来の住まいの研究発表も！

「元気なまちをデザインする」をテーマにした未来の住まいのあり方を考えるシンポジウム開催

10月16日 日経ホール（大手町）にて

UR では、「UR ひと・まち・暮らしシンポジウム」を毎年開催しています。有識者をお招きした講演や、UR が取り組む事業・技術研究の報告などを通じ、社会的課題を踏まえたこれからの時代のまちづくりや、新たな暮らし方などを考えます。

今年度は、少子高齢化を背景としたコミュニティの維持・活性化などが課題となっている現代において、これからの時代を見据えたまちづくりを考えるきっかけづくりとなるように「元気なまちをデザインする」をテーマに開催いたします。



<開催概要>

テーマ：「元気なまちをデザインする - 人と地域の繋がりが未来を創る -」

【東京会場】

- ◇ 日時：令和元年 10月16日(水) 13:00~17:20(開場 12:30)
- ◇ 会場：日経ホール(東京都千代田区大手町 1-3-7(日経ビル)、定員 610名)
- ◇ 申込：ホームページより事前にお申し込み下さい。※入場料無料
10月11日(金) 事前申し込み〆切
- ◇ 登壇者：



特別プログラム 13:10-14:10

団地はまちのおもちゃ箱

編集者・評論家
山田 五郎氏

1958年生まれ
大学卒業後、講談社の編集長を経てフリーに。
現在は西洋美術や街づくりなど幅広い分野で活躍。

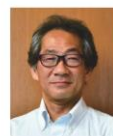
パネルディスカッション 16:15-17:15

ダンチの未来をデザインする

パネリスト



法政大学
デザイン工学部
建築学科教授
渡辺 真理氏



UR都市機構
統括役
西周 健一郎

+ 建築に興味のある学生

UR事業報告・研究報告 14:10-16:15

【大阪会場】

- ◇ 日時：令和元年 10月23日(水) 13:00~17:50(開場 12:30)
- ◇ 会場：阪急うめだホール(大阪府大阪市北区角田町 8-7 阪急百貨店うめだ本店 9階、定員 408名)
- ◇ 申込：ホームページより事前にお申し込み下さい。※入場料無料
10月18日(金) 事前申し込み〆切
- ◇ 登壇者：

特別プログラム 13:10-14:40

新しい日本の住文化 再生・創造の実践とデザイン



株式会社星田逸郎
空間都市研究所
星田 逸郎氏



株式会社
HITOTOWA
荒 昌史氏



株式会社
HITOTOWA
奥河 洋介氏



株式会社
スペースSRデザイン
吉原 勝己氏

パネルディスカッション 16:45-17:45

ダンチの未来をデザインする

パネリスト



法政大学
デザイン工学部
建築学科教授
渡辺 真理氏



UR都市機構
統括役
西周 健一郎

+ 建築に興味のある学生

UR事業報告・研究報告 14:40-16:45

※東京会場・大阪会場とも、定員に達した場合は事前に申込みを終了する場合があります。予めご了承ください。

4 ぼうさい国体 2019@NAGOYA

<http://www.bosai-kokutai.jp/>

防災・減災を学べる国内最大級の防災イベントで

災害に強いまちづくりワークショップを開催！防災意識の向上を図る！

10月19日、20日 名古屋さしまライブにて

近年、災害が激甚化する中、行政による「公助」はもとより、国民一人一人が自ら取り組む「自助」、そして、地域、企業、学校、ボランティアなど互いに助け合う「共助」を組み合わせ、地域全体で防災意識を高め、あらゆる自然災害に備える「防災意識社会」を構築していくことが大切です。

URはこの機会に「災害に強いまちづくりワークショップ」を開催致します。
密集市街地のまちを例にとり、まちに潜む危険について考え、災害に強いまちづくりに必要なことは何か、そのためにどういった対策がとれるかなどを考えるワークショップを行います。

<開催概要>

日時：令和元年 10 月 19 日（土） 14:30~16:00

会場：名古屋コンベンションセンター 409 会議室 B

住所：愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12

—本件に関するお問い合わせ—
独立行政法人都市再生機構 広報課 担当：橋、輿水
TEL：045-650-0887 FAX: 045-650-0889